

2019年4月5日  
一般社団法人日本青少年育成協会  
HSK 留学推進室  
本田恵三

HSK 奨学金短期留学 第6期生 (2019年夏季)  
募集要項のご案内



拝啓 春陽の候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。HSK 留学推進室でございます。本日は、HSK (漢語水平考試) 主催団体である・中国政府教育部国家漢弁 (Hanban) が実施する奨学金短期留学につき、第6期生 (2019年夏季) の対象となるみなさまにご案内申し上げます。参加を希望される方は、下記要項をご確認の上、締め切りまでにご応募ください。

敬具

記

1. 目的：日中の交流により異文化の相互理解を深め、国際感覚を育成する。
2. 主催：孔子学院総部/国家漢弁 (Hanban)
3. 実施：HSK 留学推進室 (一般社団法人日本青少年育成協会 国際交流委員会内)
4. 募集対象：以下の条件を満たす方 (このメールを受信された方は対象となります)
  - ①HSK 試験4・5・6級または口試中・高級の受験者のうち一定以上の成績を収めた方
  - ②1997年4月1日から2004年3月31日までに生まれた方
  - ③中国籍以外の方
5. 募集人数：30名 (最少催行人数20名)。20名未満の場合中止。
6. 旅程及び費用：

項目	内容	
期間	2019年7月29日(月)～8月8日(木) 10泊11日 ※第一日目はオリエンテーションを実施するため国内に宿泊します。	
渡航先	上海市内の大学または同等の私立教育機構	
参加費用	108,000円(税込)	
	【含まれる費用】 ・中国現地での授業料、教材費、宿泊費、食費(1日3食)プログラム内の交通費 ・成田空港⇄上海浦東国際空港 往復航空運賃、海外空港利用税、国内空港利用税/サービス料 ・オリエンテーション国内宿泊費(夕食含む) ・企画手配費用	【含まれない費用】 ・成田空港付近、集合/解散場所からご自宅までの国内移動交通費 ・海外旅行保険(出発前に必ずご加入いただきます)

7. 応募方法：

<b>選考全体 スケジュール</b> <small>※都合により変更する 場合もあります</small>	募集期間	4月5日(金)～5月19日(日)
	第一次選考結果通知(メール)	5月21日(火)
	第二次最終選考(Skype面接)	5月29日(水)～6月7日(金) ※土日除く
	第二次最終選考結果通知(メール)	6月11日(火)
<b>第一次選考 応募方法</b>	提出物	① エントリーシート (1) メール本文に記載されたURLからダウンロードして入力 (2) 応募者のお名前でエクセルデータ保存 ② 証明写真 (1) 無帽・正面・上半身・カラー写真 (2) 最近3ヶ月以内撮影 (3) 背景が無地での撮影 (4) 応募者のお名前でデータ保存 *上記注意事項以外のデータの場合、再提出を依頼することがございます。
	提出方法	以上2点をメール添付にてご提出ください。 <a href="mailto:hsk-ex@jyda.jp">送信先アドレス：hsk-ex@jyda.jp</a> 件名：【HSK奨学金短期留学応募】氏名
<b>応募締切</b>	<b><u>2019年5月19日(日)</u></b>	

8. お問い合わせ：

一般社団法人日本青少年育成協会 HSK 留学推進室  
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-46 ローベル神楽坂ビル 7 階  
 TEL 03-3269-7726 (平日 10 時～18 時)  
 メール hsk-ex@jyda.jp

以上

## HSK 奨学金短期留学の紹介（第5期生 2018年8月実施）

### 《プログラム概要》

（日本）8月16日：オリエンテーション

（中国・四川師範大学）8月17日～26日：中国語授業・文化体験（太極拳・中国結・書道  
・中華料理体験等）



### 《参加者の感想》

「若いうちにしか出来ない事というのはまさにこのような機会のことです。私も参加しようと決意するまではたくさん悩みました。自信の無さが大きな原因でしたがやはり最終的に挑戦したい冒険したいという気持ちが背中を押してくれました。自分は過去にも中国で一年間の留学経験がありましたがそれとはまた違い、この短期留学は10日間とても濃密で様々なことへの気付きや発見等が出来、また同じ参加者メンバーや中国人たちとの出会いが自分にとって大きな刺激になったので本当に価値があるものとなりました。是非多くの中国や中国語に少しでも興味ある人たちに参加してほしいです。きっと今までとは違った見え方、考え方が生まれるでしょう。与えられた可能性は全てすがって積極的に動くべきです。」

「最初は自分だけ中国語のレベルが低かったらどうしよう、ルームメイトと仲良くやれるか、料理は口に合うかなど、かなり不安でした。実際行ってみると、分からない中国語があるとお互いに教え合ったり、現地の人と会話することで、現地の方の温かみを感じたり、自分の声調の違いを見つけることが出来ました。そして、日本では聞けない生の四川語を直で触れることができました。また、今回のプログラムを通して、ずっと悩んでいた留学という進路に進むことを決めました。そしてかけがえのない仲間も出来ました。初めてのことや場所は誰でも怖いものですが、確実に自分の中国語学習への姿勢や、進路に刺激を受けます。これは滅多にないチャンスなので、ぜひ参加してください。」